

保護者からの事業所評価の集計結果表

公表：平成3年3月1日

事業所名 三条市子ども発達ルーム

保護者等数(児童数) 81人 回収数58人 割合71%

●チェック項目文中①～⑮は注釈をご覧ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	56	2			<ul style="list-style-type: none"> ・広くて活動しやすい。 ・広すぎて走りまわるので。 ・個別だったので十分なスペースがありました。 ・環境調整がしっかりされており、とても参加しやすかったです。 ・子どもにとって危険なものが落ちていることもなく、走り回っても安全と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見ありがとうございます。今後も引き続き十分に環境調整をしていきたいと思っています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	55	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思う。 ・2人が一番安心します。 ・活動中、その都度助言をいただきました。 ・個別で指導していただき、とてもありがたいです。 	
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50	3		5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思う。 ・あまり感じません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化について不都合な事などお気付きの点がありましたら、いつでもスタッフへ声をおかけください。できる範囲で改善していきたいと思っています。
	④ 指導室は、清潔で、心地よく過ごせる環境①になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	56	2			<ul style="list-style-type: none"> ・なっていると思う。 ・余計なものが無いので子供の目に付く事なく過ごせる。 ・活動に必要なものは子どもの目の届かない所にある等の配慮があった。 ・今する活動に集中できるように、なるべく物を置かないようにしてあると思います。 	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画②が作成されているか	56	2			<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な事もしっかり見て作成されたのでためになった。 ・いつもわかりやすくまとまっています。 ・とても的確であり、わかりやすいです。 ・子どもがしたい遊びを把握して、プログラムに組み込んでくれている感じがしてありがたいです。 	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	52	2		4	<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思う。 	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	56	2			<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 	
	⑧ 活動プログラム③が固定化しないよう工夫されているか	51	3		4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回違う内容で良かった。 ・子どもに合わせて、活動の幅を少しずつ広げていただきました。 ・様々なプログラム(特に机上)のおかげで出来るが増えました。 ・様々な遊びを体験し、子どもも喜んでいました。 	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等と情報が共有されているか。	49	1		8	<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思う。 ・定期的に面談をしていただきました。 ・共有させていただいており、とてもありがたいです。 	
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	57			1	<ul style="list-style-type: none"> ・ありました。 	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	56			2	<ul style="list-style-type: none"> ・説明ありました。 	
⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング④等)が行われているか	52	1		5	<ul style="list-style-type: none"> ・教えてもらいました。 ・こちらもその都度助言をいただきました。 ・家庭での対応がやりやすくなり、困り事への支援も学べた。 ・活動の際には、子どもへの接し方を丁寧に教えてくれた。 ・「どう関わったらいいか」ということは入室前から悩んでいたところがあったので、適切な関わり方や子どもの成長を促すような関わり方が学べて嬉しいです。 		
⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	54	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・できていたと思う。 ・大変お世話になり助かりました。 		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	55	2		1	・色々教えてもらいためにりました。 ・時間の最後に5～10分程度でも話し合う時間があつたらいいと思う。 ・毎回参加するたびに助言をうけており、助かっています。 ・しっかりと時間を使って目標への振り返り等をやってくれた。	・指導時等その都度保護者の方へはお声がけをさせていただいたり、面談も定期的になささせていただいていますが、保護者の方からもお話がある際はいつでもスタッフへ声をおかけください。
	15 保護者支援講座等の開催により、保護者同士の交流の場が設定されているか。	36	7	1	14	・保護者会に参加して相談できて良かった。 ・色々意見や体験談を聞いて勉強になりました。 ・同じグループの保護者同士は話すが、違うグループの方との交流はない。 ・もう少し回数があるといい。 ・申し訳ないですが、保護者支援講座に参加出来ていないのでわかりません。	・就学前説明会、就園前説明会時に保護者交流の時間を増やしていきます。子ども発達ルームの保護者支援講座等にたくさんの方の御参加をお待ちしております。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	54	1		3	・されていたと思う。 ・心配していることへの相談に親身に乘っていただき、とても感謝しています。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	54	4			・出来ていたと思う。	
	18 定期的に掲示等で、指導プログラムや行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	41	5	1	11	・わからない。	・指導プログラムについては、半年に1回、行事等の開催はその都度案内文を保護者の方へお渡ししています。 ・自己評価、事業所評価の集計結果等については三条市のホームページへの掲載及び子ども発達ルームへの掲示を行っております。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	56	1		1	・はい。 ・たぶんされていると思います。 ・相談したいと話した時に、他の保護者の方から離れた所で話をさせていただいたので、意識的に注意されているのだと感じました。	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	43	2		13	・ありました。	・マニュアル等については、指導室前に掲示してあります。今後機会を捉えて周知いたします。 ・訓練等については指導を優先としているため、利用者の方の訓練は実施しておりませんが、スタッフは定期的に避難訓練等を行っています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	1	3	22	・わからない。 ・行われているけど関係なかった。	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	51	5	1	1	・楽しく通ってました。 ・発達ルームへ向かう車中とても機嫌が良かった。 ・普段の保育園より楽しみにしています。 ・来る時は一階の遊び場に浮気しそうになりますが、いざ発達ルームに入るとよく笑っているの、言葉はありませんが楽しみにしていると思います。	・今後も楽しく通所ができるようスタッフ間で連携して指導を行っていきたく思います。また、保育園等集団生活を楽しく過ごせるよう発達支援を行っていきたく思います。
	23 事業所の支援に満足しているか	55	2		1	・しっかり支援してもらい良かったです。 ・欲を言えば就学後も何かしらの支援があればと思う。 ・子供ができることできないことが分かるようになりました。 ・いつもありがとうございます。とても満足しております。これからもよろしく願い致します。 ・子どもの長所や苦手な部分を客観的に説明、それに対するアドバイスを多数いただきとても参考になった。 ・流れを理解してきたのか、おだやかに参加できることが増えてきました。ジェスチャーや発語はまだ先なのかもしれませんが、いつか通って言葉が増えていくことを期待しています。	・就学後については、就学先で必要に応じてお子さんに合った支援がされていくと思われます。そのための今後必要と思われる支援及び配慮点については、子ども発達ルームから就学先へ引き継ぎをさせていただきます。

●この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

(注釈)

- ①「心地よく過ごせる環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ②「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- ③「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- ④「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。
- ⑤「その他必要な訓練」は、楽庁舎で行われる消防訓練に指導員が参加し、非常時等には対応できるようにしています。